

首相の諮問機関・政府税制調査会が6月21日、サラリーマン増税を柱とする個人所得税の見直しに関する報告書を公表。給与所得控除の縮小、配偶者控除の廃止、扶養控除の見直し、定率減税の全廃などを盛り込んだ。年収500万円のサラリーマン世帯では、42万円の増税との試算もある。消費税増税か所得税増税かの選択を納税者に迫る狙いもある。

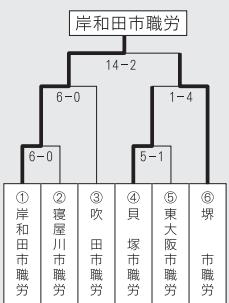
石綿とも呼ばれる天然の繊維状鉱物。耐熱性があるため長い間、補強材や断熱材として使用されていた。肺に吸収されると排出されにくく、発ガンの原因になる。兵庫県尼崎市にあった大手機械メーカーの工場の従業員ら78人と家族や近隣住民がアスベストが原因で起きたガン「中皮腫」などで死亡していたことが、このほどわかった。日本では1995年から段階的に製造・使用が禁止され、昨年から原則全面禁止になった。

## 情報BOX

## ■大阪自治労連第17回野球大会

深紅の優勝旗は岸和田市職労へ

6月21日、23日、万博公園スポーツ広場で大阪自治労連の野球大会が開催され、熱戦が繰り広げられた。6チームによるトーナメント戦の結果、岸和田市職労チームが強さを發揮し、みごとに優勝旗を手にした。引き続く近畿ブロック大会での優勝が期待される。



## ■第54回 関西平和美術展

日時：2005年8月9日(火)  
～14日(日)  
9:30～17:00  
(入館は16:30まで)

場所：大阪市立美術館  
新展覧会室  
(天王寺公園内)

入場料／大人500円：小・中学生・  
シルバー(65歳以上)無料  
問い合わせ：事務局  
TEL06-6311-1236

■関西芸術座スタジオ公演No.42  
**「反応工程」**  
作／宮本研 演出／門田裕  
日時：2005年8月31日～9月4日

会場：関芸スタジオ

入場料：3,000円(前売、当日とも)中・高生・70歳以上2,500円

昭和20年8月5日、九州

中部のある軍需工場には多くの学徒たちが勤員されていた。日本はもう何日かで敗戦が決まっていたんだろう。なのに、何故？衝撃の青春群像

問い合わせ：関西芸術座

TEL06-6661-2112



広大な空地のままだった一期工事の土取り場。正面に見える斜面は、当初計画にあった人工スキー場用のもの。写真の右側では二期工事の土取りが進行中だ。

和歌山  
関空・土取り場

ハウス内で加太菜園の職員に説明を受け  
る調査団

# 加太に「カゴメ」が進出

## アジア最大級のトマト菜園を建設

関空開港から10年。再来年には2期工事も完了する。この間、地盤沈下、離発着数、中部、神戸空港の開港・建設など、重たい話題が多い。「空港関連」の事業も思い通りには進んでこなかった今、山頂を丸裸にはぎ取った和歌山市加太では、「カゴメ」が大規模トマト菜園を建設中だという。6月30日、大阪自治体問題研究所が現地調査を行った。

### 県内年間生産量に匹敵

トマト栽培会社「加太菜園」。カゴメと金融資本であるオリックスがついた合弁会社で、7月中旬に建物が完成し、10月下旬には出荷が始まるという。「うちはカゴメさんのみに供給、市場には出ない。販路も全国の大手スーパーが対象。地元とはバッティングしない」。県内のトマト農家には影響がないと新会社の職員は話す。

第一期は、5・2ヘクタール、年間1500トンを計画、最終的には20・1ヘクタール、年間6000トンの出荷計画。ロックウールに苗を植え付ける養液栽培で、一本の樹を15～20mまで伸ばし続け、10ヶ月間連続収穫する周年栽培。温度、湿度、灌水などはコンピューター管理、リサイクル等、環境への負荷軽減があちこちに取り入れた最新技術を導入したハイテクのガラスハウスだと説明がある。収穫には人の手が必要で、「300人雇う」が、大部分はパート労働者。雇用の拡大には違いないが…。年6000トンは和歌山県全体の年間生産量にほぼ匹敵する。計画が実行されれば単純に生産量は倍になる。県下のトマト農家を対象にしたアンケートでは、「北海道産の新規参入などで大阪・近畿の市場ではダブツキ気味、価格が下落しているが、さらに暴落しないか」と70%が不安を抱えていることも明らかになった。

紀ノ川農協の児玉さんは、「トマト農家30軒で12万株植え、大阪の生協などに出荷している。今年6月は雨が少なく生育よく収穫も多い。宮崎や高知などの秋まき4～5月出荷も好調、値が崩れている」と話しながら、カゴメの進出に、「トマトの消費は伸びている、そこに着目したのか。炒めたり、調理用に使う赤系トマトを栽培する菜園だとしているが、和歌山だけでなく大阪・近畿のトマト農家に影響がでるはず」と警戒する。

「一期工事の土取り跡地、コスモパーク加太は、当時14社からなるコスモパーク加太開発機構を作ったが、全社が撤退。250ヘクタールの広大な空き地がそのままになった。『開発で元をとる』と県は土取り場に120億円かけ、土砂販売で800億円回収したが、400億円の赤字を出し、利子や維持管理費をあわせると560億円が債務に。今回、県は土地のレンタルを可能にした小泉『経済特区』を適用し、開発公社所有のコスモパーク加太の土地を1平方メートル年間560円で借り受け、カゴメにはその約6分の1、年間100円の破格で、20年契約の又貸しをした。年、約1億8千万円にのぼる差額は県民が負担することになる」。議会で追及してきた松坂秀樹県議は、大企業優遇に違いないが、その建物が小さく見えるほど跡地のなんと広いことか。ここに地元トマト農家を直撃するアジア最大規模のトマト菜園を招聘。「共存共栄」のはずだった巨大開発・開空とその関連事業で、地元住民に大きな不安を与えるのはもってのほかだ。

### 住民に見えない「立入禁止」の山頂に広大な菜園

土取り場をふもとから見上げると、山並みの美しさは消え、水平線のように単調な一直線。広大な平地になった結果、井戸水も枯れたという。保水力を失ったむき出しの地肌の荒々しさは、その場に行って初めて実感できる。周辺の自然環境にはかり知れない影響を与えるながらも、住民には見えない「関係者以外立ち入り禁止」の山頂だから傷跡はわかりにくい。坂道をマイクロバスで登りつめると道路で隔てた左側は、二期工事の土取りが進行中。右折すると現われる広大な敷地に、ガラスで囲まれた小さなハウスが見える。約200m×240m、5ヘクタールもある巨大温室に違いないが、その建物が小さく見えるほど跡地のなんと広いことか。

ここに地元トマト農家を直撃するアジア最大規模のトマト菜園を招聘。「共存共栄」のはずだった巨大開発・開空とその関連事業で、地元住民に大きな不安を与えるのはもってのほかだ。

### 平和ーわたしたちのねがうもの 九条憲法

■戦後60周年吹田市市政施行65周年記念事業  
関西芸術座公演『あの日 私は パートV』  
**「戦争童話集」**

日時：2005年8月9日(火)開演午後7時  
会場：吹田メイシアター 中ホール  
入場料：無料  
問い合わせ：吹田市人権平和室 TEL06-6384-1231  
吹田市文化会館 TEL06-6380-2221  
(すべて日時指定。  
ご予約ください。)

（6月18日「損保9条の会」  
結成講演会での発言・連合  
通信より）

### 県が一平方メートル100円でカゴメに 又貸し、差額は県民が負担

「一期工事の土取り跡地、コスモパーク加太は、当時14社からなるコスモパーク加太開発機構を作ったが、全社が撤退。250ヘクタールの広大な空き地がそのままになった。『開発で元をとる』と県は土取り場に120億円かけ、土砂販売で800億円回収したが、400億円の赤字を出し、利子や維持管理費をあわせると560億円が債務に。今回、県は土地のレンタルを可能にした小泉『経済特区』を適用し、開発公社所有のコスモパーク加太の土地を1平方メートル年間560円で借り受け、カゴメにはその約6分の1、年間100円の破格で、20年契約の又貸しをした。年、約1億8千万円にのぼる差額は県民が負担することになる」。議会で追及してきた松坂秀樹県議は、大企業優遇に違いないが、その建物が小さく見えるほど跡地のなんと広いことか。

ここに地元トマト農家を直撃するアジア最大規模のトマト菜園を招聘。「共存共栄」のはずだった巨大開発・開空とその関連事業で、地元住民に大きな不安を与えるのはもってのほかだ。

## 「地元との共生」！?



カゴメ進出の影響を語る紀ノ川農協のトマト農家・児玉さん

### 21世紀の課題 と憲法9条

経済同友会終身幹事  
国際開発センター  
品川 正治さん